平成 30 年 2 月 17 日（土）第５回作成委員会
資料２

（２）　パブリックコメントの結果について

１　提出数　　１通
２　意見総数　４件
３　ご意見と本組合の考え方

項目	件数	本組合の考え方
地域包括ケアシステムの早期構築をすべきであって、２０２５年度では遅すぎる。	1	本計画の期間は２０２５年までの中長期的な視野に立った施策展開を図ることとし、基本目標においても「いつまでもいきいきと健康に住み慣れた地域で生活を継続」するための施策として、「地域包括ケアシステムの推進」を記載しています。今後とも、地域課題やニーズに基づき、必要に応じて早期的な構築に向けて取組んでまいります。
２０１６年調査によると、開設１０年以内で空きベッドのある特養のうち、職員の採用が難しいことが理由でベッドに空きがある施設は１３％に上るとなっている。今後、人手不足は続くのではないか。	1	本組合の管内においては、人材不足による特養の空きベッドは発生しておりませんが、今後とも人材確保と育成に関係機関とともに取り組んでまいります。
在宅医療・介護の充実が求められています。	1	本計画では、平成３０年度には「在宅医療・介護連携相談センター（島原市においては平成２９年度から）」を設置し、在宅医療・介護連携の推進をすることとしております。
福祉有償運送ボランティアの募集をお願いしたい。	1	今後、必要に応じて検討してまいります。

ご意見の趣旨を損なわない程度に、若干は表現を改めています。このほか、目的が不明な意見に対しては、回答等を控えています。